

アジア諸国等文化遺産保存修復協力 (コ02)

目 的 東南アジア、西アジアやその周辺地域における文化遺産保存修復事業等への協力及びこれに関する調査研究の実施を通じて、文化遺産の保存・修復及び管理・活用に関する技術移転を図るとともに、この分野での国際協力を推進する。

- 成 果**
1. 南アジア古代都市・建築研究会「東南アジアの古代都市を考える」(アンコールおよびバガン王宮の建築を探る)の開催(2018(平成30)年1月19・20日)。カンボジア・オーストラリアより考古学専門家各1名を招聘(2018(平成30)年1月17日~23日)
 2. カンボジア・アンコール・タネイ寺院保存整備計画策定支援等
 - ア) 考古発掘(東参道及びテラス遺構を発見)、建造物リスクマッピング等の作業を実施(2017(平成29)年7月15日~31日、11月27日~12月11日、2018(平成30)年3月7日~23日派遣)
 - イ) アンコール遺跡保存国際調整委員会技術会合及び総会での報告(2017(平成29)年6月19日~24日、12月12日~16日派遣)
 3. イラン文化遺産手工芸観光庁及び文化遺産観光研究所との協力事業
 - ア) エスファハーンにおける「歴史的木造建造物及び木製文化財の保存に関する現地ワークショップ」の開催(2017(平成29)年4月15日~21日派遣)
 - イ) 「博物館の環境管理に関するイラン人専門家研修」の実施。同研究所及び同国国立博物館より各1名を招聘(2017(平成29)年10月29日~11月5日)
 4. アルメニアにおける「染織文化遺産に関する保存修復研修」の実施(2017(平成29)年9月11日~20日派遣)
 5. ブータンにおける「ブータンの伝統的民家保存に関するワークショップ」の開催及び関連調査の実施(2018(平成30)年3月8日~15日派遣)
 6. インド・デリーで開催された第19回イコモス総会・学術シンポジウムに参加し、わが国のヘリテージマネージャ制度に関して発表(2017(平成29)年12月8日~17日派遣)
 7. ネパールの地震被災文化遺産保護に関する技術支援(外部資金事業との連携)

カトマンズ・ハヌマンドカ王宮アガンチェン寺ほか修復工事に伴う建築学的調査等(2018(平成30)年3月24日~30日派遣)
 8. NPO法人南アジア文化遺産センターとセミナー「インドにおける文化遺産保護と最新のインダス文明研究」を共催(2017(平成29)年9月26日)

論 文・安倍雅史「シリア紛争と文化遺産」『アジア太平洋研究』 pp.1-12 18.3

発 表・Masahiko TOMODA et al.: "Conservation and Sustainable Development Plan of Ta Nei Temple and Progress of the Archaeological Investigation" The 29th Technical Session of ICC-Angkor, Siem Reap, Cambodia 17.12.13 ほかに5件

刊行物・『Iran-Japan On-site Workshop on the Conservation of Wooden Buildings and Wooden Objects』 TNRICP, 17.8

・『考古学的知見から読み取る大陸部東南アジアの古代木造建築』東京文化財研究所 18.3

・『アジア諸国等文化遺産保存修復協力 平成29年度成果報告書』東京文化財研究所 18.3

研究組織 ○友田正彦、安倍雅史、山田大樹、マルティネス・アレハンドロ、間舎裕生、北山奈央子、荒木晶(以上、文化遺産国際協力センター)、亀井伸雄(所長)、佐野千絵、小峰幸夫(保存科学研究センター)、石井美恵、呂俊民、古田嶋智子(以上、客員研究員)